

(一般質問)

質問日	令和8年3月10日(火)			質問方式	分割方式		
質問順位	8	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	6	氏名	酒井 豊実
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 新年度当初予算案について	物価高騰対策・市民福祉の増進のポイントを伺う。						中野市長
2 平和都市宣言の実践について	<p>(1) 国際情勢が戦争と平和の狭間で激変し、悪化している状況において、浜松市平和都市宣言の意義は大きい。宣言の実践にあたり、加盟している「平和首長会議」へ出席することをはじめ、大空襲被災都市として積極的な平和行政の推進が求められると思うが、市長の思いを伺う。</p> <p>(2) 戦争のない平和を希求し未来に繋ぐ一環として、広島市や長崎市の平和祈念式典等、平和事業に本市の小学生・中学生・高校生を平和大使として派遣してはどうか、考えを伺う。</p> <p>(3) 先の日中戦争では、14歳、15歳の少年が満蒙開拓少年義勇軍の少年兵として、浜松地域からも中国北東部へ出兵しており、二度と再び子どもたちの夢と希望を奪う暗黒の歴史を繰り返してはならない。また、戦後80年を経て戦争の悲惨さを語り継ぐ活動が重要となっている。そこで、小・中学校における平和教育推進の現状と今後について伺う。</p>						<p>中野市長</p> <p>水谷市民部長</p> <p>野秋教育長</p>
3 中山間地域振興計画の推進について	<p>「過疎地域持続的発展計画」は令和8年度で終了するが、中山間地域振興計画へどのように引き継がれるのか伺う。</p> <p>また、振興事業の財源は、過疎対策事業債（充当率100%、返還の7割が地方交付税補填）が終了し、活用できるのは規模の小さい辺地債しかなく、全体事業の推進にはあまりにも少ない。</p> <p>そこで、国の制度の最大活用など、財源確保について伺う。</p>						朝月副市長
4 こどもの権利条例の制定について	<p>子どもの権利条約は、子どもが守られる対象であるだけでなく、権利をもつ主体であることを明確にしている。条約批准の後、全国では、子どもの権利の保障をはかる総合的な条例として、昨年4月までに名古屋市をはじめ81自治体で制定が進んでいる。</p> <p>本市での条例制定に向けたこれまでの検討経過はどうか、新条例の骨子はどのようにまとめられているか、また、今後の公布、施行までのスケジュールについて改</p>						野田こども家庭部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	めて伺う。	
5 合併処理浄化槽の維持管理補助金制度について	<p>本市は浜名湖、天竜川、都田川、阿多古川、水窪川、気田川など水清き都市である。下水道の整備によって清流が保たれ、生活環境の浄化が推進されてきた。</p> <p>また、下水道や集落排水が整備されていない地域では、汲み取り式や単槽式浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えにより集落環境が浄化され、大小河川の自然環境が美しく保全されてきた。この浄化後の水質は下水道と同等であるが、下水道の管路や終末処理場の維持管理経費は使用料と税金で賄われているのに対して、合併処理浄化槽の維持管理費は100%個人負担となる。さらに、天竜区内では本年4月から保守点検料金と毎年の浄化槽清掃料(汲み取り料)が値上げされ、年間76,200円の維持管理費となる。ブロアの電気料も値上げされた。合併処理浄化槽が365日稼働しているからこそ、市内の生活環境が保持されている。まさに、個人所有の重要な公共施設である。</p> <p>まだ多くの単槽式浄化槽が使われていることから、下水道と同等の市民負担となるような合併処理浄化槽の維持管理補助制度を創設すべきと考えるが、以下伺う。</p> <p>(1) 合併処理浄化槽の位置付けと現状把握について伺う。</p> <p>(2) 補助制度の創設について伺う。</p>	奥家水道事業及び下水道事業管理者
6 小中一貫校化と公共施設複合化について	<p>(1) 市内に3校(引佐北部小中学校、庄内学園、浜松中部学園)の小中一貫校がある。導入時には、「中1のギャップ」を解消することが大きく理由付けされたが、この間の学校運営で、成果や課題についてどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 佐鳴台地区では、小学校と中学校を一貫校化し、その学校内に協働センター、子どものこころの診療所を複合化する計画が発表され、3月2日と8日に住民説明会が開催される。学校は地域文化の中心であり、地域の灯だ。複合化の計画提案は、住民の合意形成が大前提になる。行政主導で複合化導入最優先では民主的とは言えない。子ども・学校最優先として、住民の合意形成をどのように進めていくのか伺う。</p> <p>また、学校と他の公共施設の複合化の基本方針・計画を伺う。</p>	野秋教育長 鈴木財務部長
7 PFAS汚染と市民の健康について	<p>(1) 市の水質検査の結果は、PFASはPFOSとPFOAに分類されて報告されているが、PFOSの比率が圧倒的に高い箇所が多い。PFOSの原因として、航空自</p>	上田環境部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>衛隊浜松基地の航空機火災消火訓練で長年使用された泡消火剤が、基地内排水路から承水路、伊佐地川へ流出したことによる地下水汚染、井戸水汚染と考えざるをえない。改めて市の認識を伺う。</p> <p>(2) 水道水質基準に、本年4月1日からPFAS（PFO S、PFOA）が追加される。検査機器や分析に関する準備状況、検査体制、分析化学専門職員の増員配置について伺う。</p>	<p>奥家水道事業 及び下水道事業 管理者</p>
<p>8 『天竜エコテラス』シャフト炉式ガス化溶融炉について</p>	<p>(1) 当溶融炉は、製鉄所の溶鉱炉のプラント技術を使い、石炭を蒸し焼きしたコークスを炉の底部に投入して高温燃焼させ、最上部から投入した可燃ごみ等の多様な廃棄物を最下部の溶融帯で約1800℃の高温溶融しており、廃棄物の資源化と、最終処分量の最小化による循環型社会の実現を目指している。</p> <p>しかし、当溶融炉の心臓部の燃料はコークスであり、元は温室効果ガス発生の主因とされている化石燃料の石炭である。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア 当溶融炉のコークス使用量、温室効果ガス排出量の実績について伺う。</p> <p>イ コークス使用量や温室効果ガス排出量を削減していく取組について伺う。</p> <p>(2) 当溶融炉の機能は、「災害廃棄物」や「掘り起こしごみ」等の多様な廃棄物の安定処理・完全溶融を実現するとされている。旧浜松市が馬込川河口右岸の海岸に埋め立てた医療系廃棄物を含む多量の廃棄物が、今も防潮堤外側の波打ち際にある。用地管理者である県による養浜が持続的に行われているが、波や海岸流による浸食に加え、高潮・津波による外洋流出の危険がある。</p> <p>エコテラス稼働中の20年間ならば、これを掘り起こして溶融処理が可能である。</p> <p>そこで、エコテラスを活用した「馬込川河口右岸埋め立てごみ」の処理について、ごみを埋め立てた起因者である市の対応方針を伺う。</p>	<p>上田環境部長</p>